

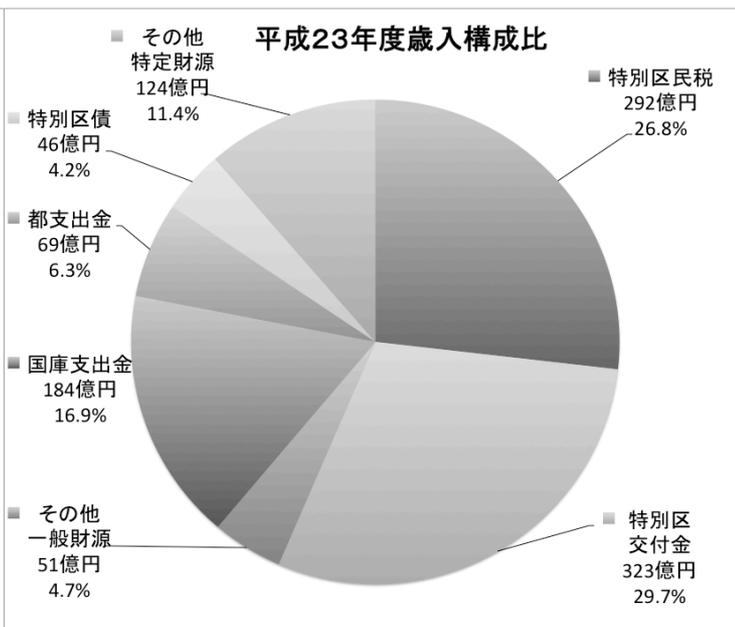
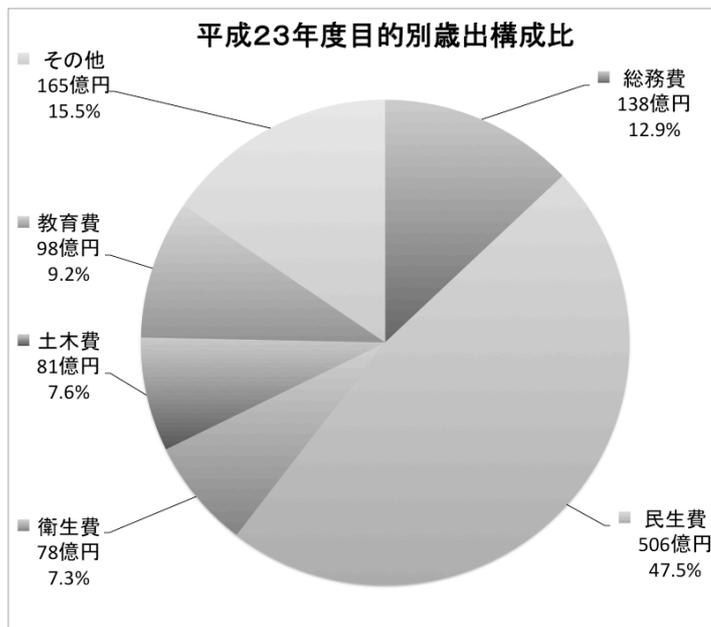
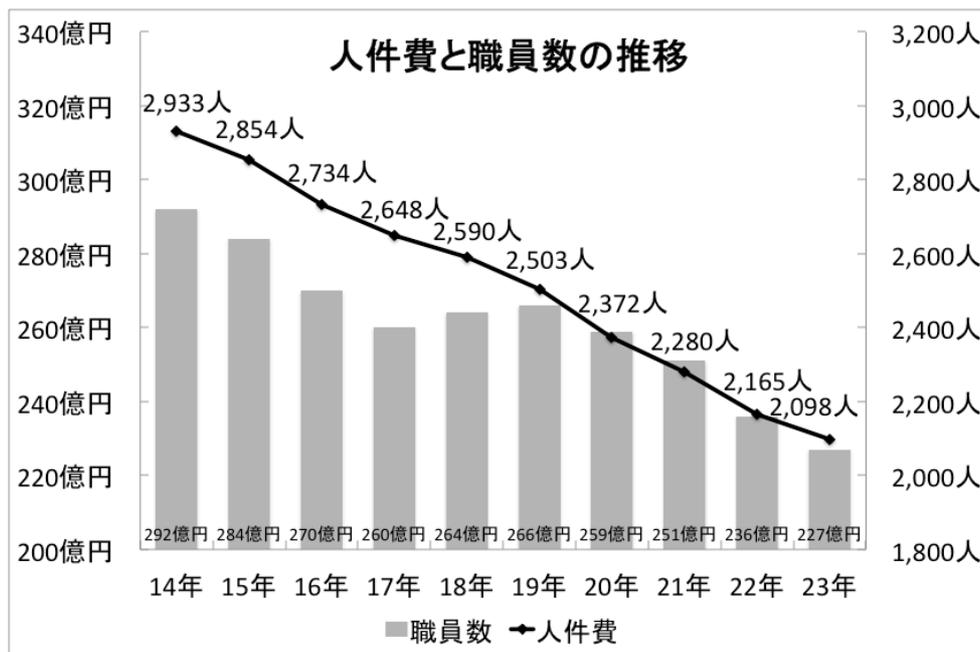
(3) 組織と職員2,000名体制について

23年度中野区の人件費は職員数の削減で9億円減となりました。

14年度は約3,000名（人件費は292億円）が、23年度は約2,100名程度（人件費227億円）となりました。当時と比べ確かに人件費は落ちていますが、一方で扶助費や公債費はどんどん伸びています。もう人件費削減だけでは、中野区の財政は追いついていきません。もう一方で2,000名体制に対す組織のキシミも、徐々に出てきます。例えば、

1) 一時期の不採用もあり、職員の平均年齢は現在46.9歳と上がってきている。2) 管理職と職員間の人数的なアンバランス（ひとりの管理職で7～9人の部下のところ、一方で110名以上を担当している部署）。3) 管理職への希望者減。4) 専門職の欠如等の不備が目立ってきています。区民サービス向上のためにも再度、財政と合わせて、組織体制を見直す必要があるのでは無いでしょうか。

以上3つの視点からも中野区の23年度決算を踏まえて財政の確保と合わせて、さらなる改善・改革が必要と思っています。



佐野れいじオフィシャルホームページ

<http://www.sanoreiji.jp/>